

APE バッテリー化キット No4175

当キットはAPE バッテリーレス車をバッテリー搭載化にすることで、安定した保安部品の作動が確保できます。また各社メーカーから発売のタコメーター、LED ライト関連パーツが使用可能です。一部メーカーから発売の製品は別途レギュレーターが必要な製品もございます。

取り付け可能な適合車両：

APE50 AC16-1000001～1599999

APE100 HC07-1000001～1599999

*XR50 モタード、XR100 モタードに多少の加工で取り付けも可能ですが、バッテリーケースの加工が必要です。こちらの車体は取り付けサポートをいたしておりません。

取り付け前準備をいただく工具

- ・ イグニッションの端子へハンダ付けが必要です。ハンダ、ハンダゴテ、ペースト（はんだ付け促進剤）をご用意ください。その他一般的な整備工具が必要です。

内容品

- ・ バッテリー化メインハーネス・・・1ケ
- ・ バッテリー電源ハーネス・・・1ケ
- ・ イグニッションスイッチハーネス BAT 接続(赤)・・・1ケ
- ・ イグニッションスイッチハーネス HO 接続(黒)・・・1ケ
- ・ 分岐サブハーネス(緑)・・・1ケ
- ・ APE バッテリー化バッテリーケース・・・1ケ
- ・ バッテリーケース固定タイラップ幅 4mm・・・5ケ
- ・ バッテリーバンド(ホンダ純正部品)・・・1ケ
- ・ コンパクトバッテリー12V1.5Ah・・・1ケ
- ・ バッテリーケーススポンジシール(5mm 厚)・・・1ケ



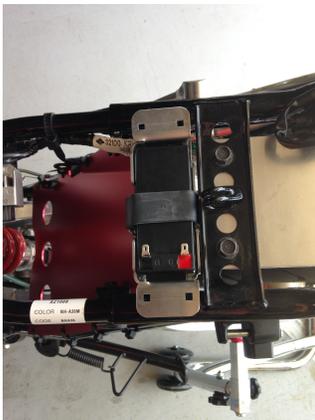
1-1.バッテリーケース内部に三等分した 5 mm 厚のスポンジシールを貼付けします。スポンジシールはバッテリーがケース内部で安定し、走行中の衝撃を緩和します。



1-2.付属のバンドで固定します。バッテリーケースの下側四隅に水排出様の水を設けています。雨天時の走行も考慮した設計です。



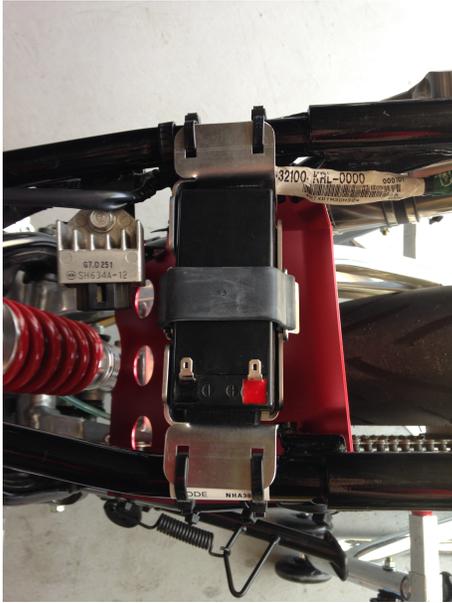
1-3.取り付けの際にノーマルエアクリアーとAPEバッテリー化バッテリーケース同時装着の場合には、マッドガードのオレンジ色点線部分をカットしてください。リアフェンダーとバッテリーケースが干渉する場合には、フェンダーを4cm前後切断加工します。ただしバッテリーケースの取り付け方法を1-4.画像のようにフレーム補強部分ギリギリにした場合はマッドガードのカットをせずに取り付けできます（*シートをフレームへ取り付けする際にコツが要ります。そのためシートを簡単に取り付け、取り外しをしたい場合には、マッドガードのカットをオススメします）。



1-4.マッドガードを切断しない場合の取り付け方法

シートの取り付け、取り外しにコツが必要です。またマッドガードに配線を挟み込んでしまうことがあるので、注意してください。

この方法はGクラフト製タックロールシートにオススメです



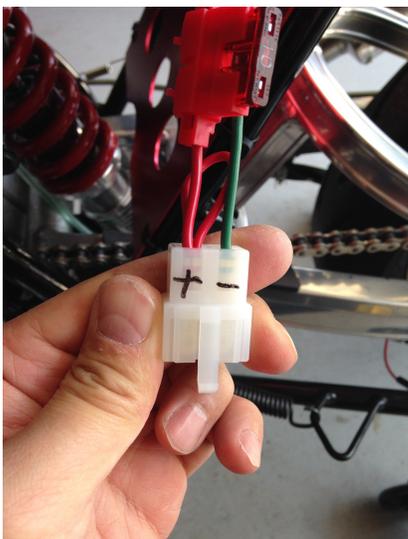
1-5.推奨の通常の取り付け方法（マッドガードを切断する）

シートの取り付け、取り外しも無理がなく簡単に行える取り付け方法です。

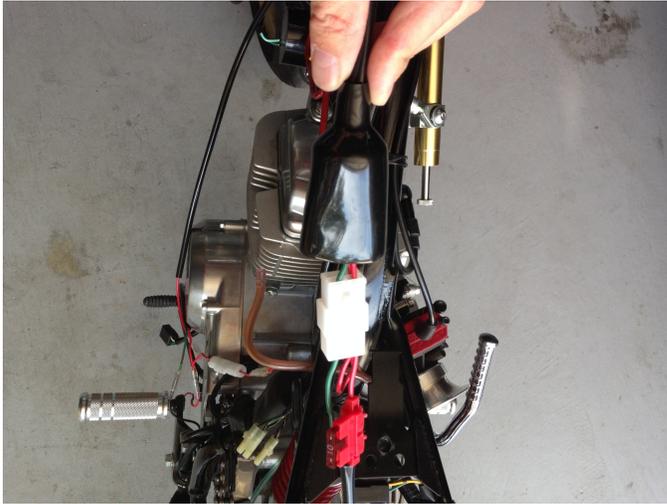


1-6.バッテリー端子にギボシを差し込みます。赤線は+端子、緑線は-端子へ接続します。

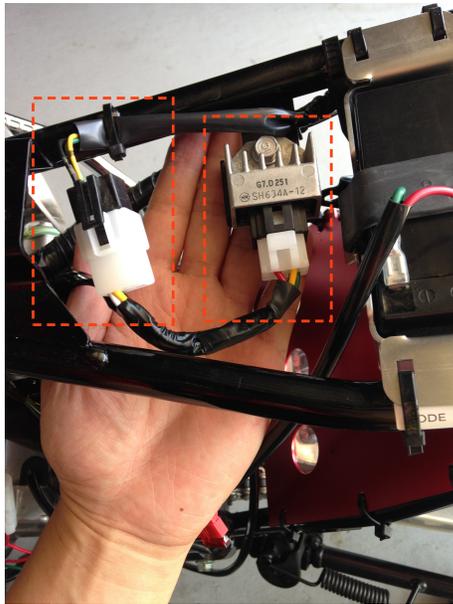
* バッテリー脱着時の注意:必ず+端子から取り付け、取り外しの際は-端子から取り外します。



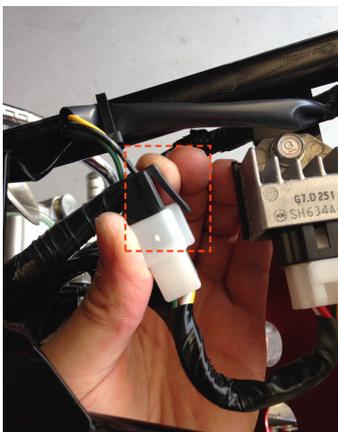
1.7.バッテリーコネクターはあえて大きめのコネクターを使用しています。ヒューズボックスを脱着カプラーから5cmの位置に配置しています。ヒューズは10Aを推奨しています。このヒューズは量販店にて購入可能です。



1-8.バッテリーコネクタには埃や雨水の影響を受けにくいようにゴムブーツを設けました。配線はフレームにタイラップで固定しますが、固定する際に水が掛かりにくい向きに設置してください。右サイドシェラウドの内側に設置するとメンテナンス性が向上します。



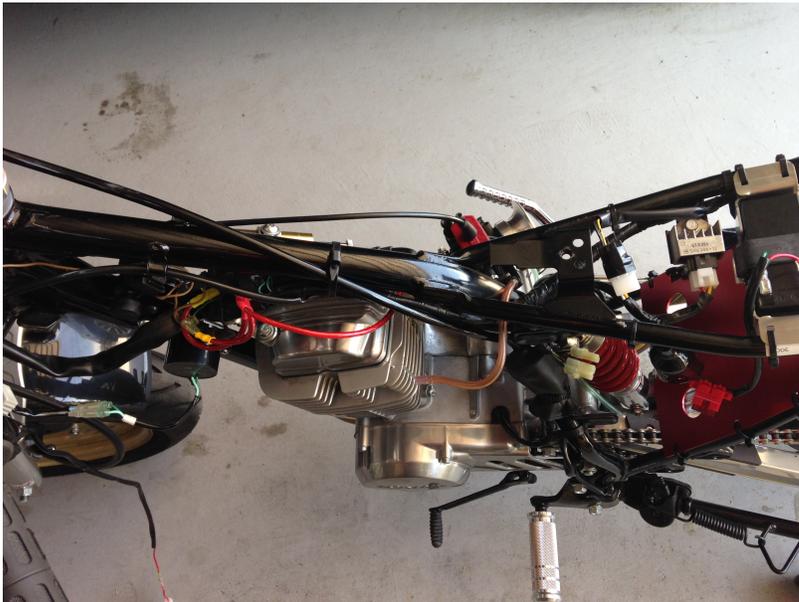
2-1.赤点線内の部品がレクチファイヤーです。画像のようにコネクタ（カプラー）を接続してください。



2-2.レクチファイヤーのコネクタ部分（2-1.画像、点線右側の部品）のツメ（純正カプラー側/黒色）は浮き上がりますが、このツメはカットしてもかまいません。2-3.にて絶縁テープを巻きますので、カットをしなくてもかまいません。



2-3.絶縁テープを巻き、走行中に外れないようにしてください。



3.フレームにバッテリー化
メインハーネスを沿わせま
す。

*シート、タンク、ケーブ
ル類、メインハーネス等を
考慮して、無理や負担が掛
からない位置にハーネスを
沿わせてください。

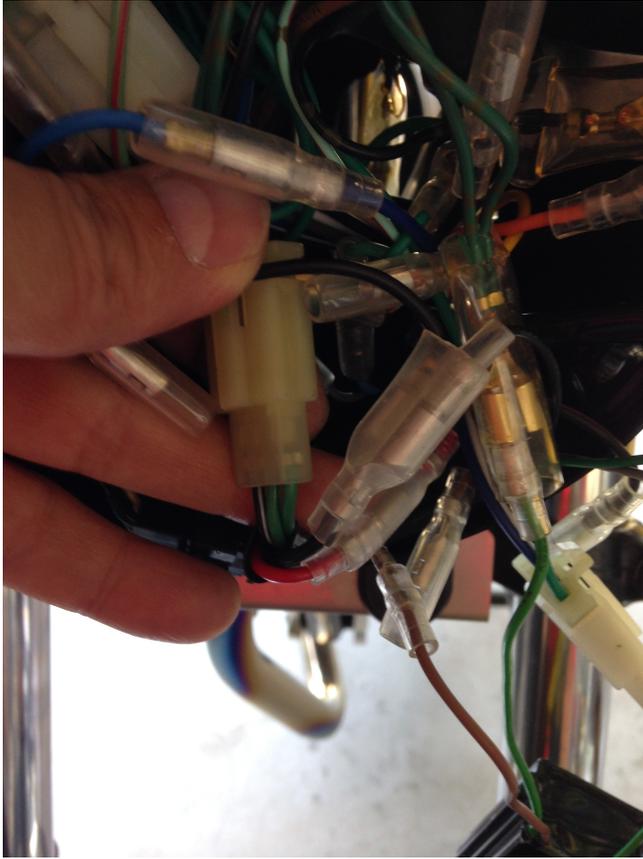


4-1.イグニッションスイッチをヘッドライトから取り外します。イグニッションスイッチの取り外しはキャブレター調整様のマイナスドライバー等（あまり太く無いもの）を使用して、イグニッションスイッチ本体の爪を内側に押し込む様にしてヘッドライトケースから外します。爪は対角線に2箇所あります。くれぐれも無理をしてヘッドライトケースを破損しないようにしてください。落ち着いて作業をすれば、必ず外れます。

画像のようにイグニッションスイッチの配線をハンダ付けします。BATは赤色線、HOは黒色線です。ハンダ付けの際はペーस्टを付けると長期間の使用でも振動等で断線するリスクが減ります。ハンダ付けする前に電線をビニールホース内に通してください。電線を固定している銀色の金具（クリップ）はプライヤーで口を開き（緩めます）赤、黒色の線を通した後に再度プライヤーで銀色の金具をカシメます。以上の作業が完了したら、イグニッションスイッチをヘッドライトへ戻します。



4-2.作業 4-1.で黒色ホース内に赤、黒線を通す作業の際にシリコンスライダー等（シリコンスプレーでもかまいません）を用いることで、スムーズに電線を通すことが可能です。



5-1.イグニッションスイッチの配線の中、カプラーはメインハーネスへ元通りに戻します。

今回取り付けしたイグニッションスイッチの赤色線はバッテリー化メインハーネスの赤色線と接続します(ギボシのオスメスの接続です)。

イグニッションスイッチの黒色線の分岐ギボシはニュートラルランプの黒色線、スピードメーターの黒色線を接続してください。

備考：

*イグニッションスイッチの赤色線・・DC電源
(入力電源)

*イグニッションスイッチの黒色線・・DC電源
(出力電源)

*イグニッションキーを ON 時にニュートラルランプとメーターの照明 ON になれば点検完了

です。

5-2. 付属品の分岐サブハーネス(緑)は車体側ハーネスの緑色線(アース)とメーターの緑色線(アース)の接続に使用しますが、今回のバッテリー化に伴い電装系パーツ(タコメーター等)をアップグレードする際に使用します。それ以外は必要ありません。

6.取り外しをしたパーツを元の通りに組み付けて作業は終了です。

参考事項：

* 必要電圧が最大 8W 以上のパーツは直接イグニッション DC 電源(バッテリー電源使用)へ接続をしないでください。バッテリーが上がる原因となります。ほとんどのタコメーター、スピードメーターは問題ありません。

* バッテリー化キットに DC ホーンは取り付けできません。必ずエンジン始動に伴い発生する 12V 電源へ接続してください。

* バッテリーはアフターパーツとして販売しております。ミニモトまでお問い合わせください。

| 発売元 | 住所 | 電話番号 | FAX 番号 |
|------|------------------|--------------|--------------|
| ミニモト | 長野県諏訪郡原村 14862-2 | 0266-79-7600 | 0266-79-6550 |